

第3回 隠岐の島町アイノマゲート推進協議会 議事録

日 時：令和5年10月20日（月）13：30～15：00

会 場：隠岐の島町役場2階 201会議室

出席者：別紙参照

1. 開会

2. 会長あいさつ

桑子会長：昨年度の11月に開催ということで期間がだいぶ空いてしまったが、まちづくりについては着実に進んでおり、デザインコンペで最優秀賞を受賞されたチームの設計が始まっている。国のサポートも受けながら進めており、公共交通のり・デザインに関する補助についても受けようと考えている。議事内で本補助について講演がある。議論していただければと思う。

3. 説明

1) 今までのまちづくりの経緯説明

◇質疑応答・意見

なし

4. 講演

1) 地域交通とまちづくりについて

◇質疑応答・意見

川 崎 氏：来年度の申請についてはどうなっているのか。

小 林 氏：モデル事業については引き続き実施予定である。令和6年度、令和7年度是非申請していただければと思う。

川 崎 氏：非常に良いことであると思うが、資料収集はどうしたらよいか。

小 林 氏：タイミングの話からすると、6月に各種事業について情報発信を行い、12月20日前後に閣議決定し、3月に国会で承認を得るというスケジュールである。3月20日から30日にかけて国の事業は公募がはじまるため、HPを見ていた

だきたい。公募期間の延長、補正予算などがあるため、このリ・デザインについても補正される可能性がある。ＨＰ等で情報収集していただければと思う。何か不明点等あればメールなどで問い合わせいただければ。

宇野課長：地域公共交通に係る悩みはたくさんあるが、担い手不足が一番。活用できるものについては活用していきたい。交通の仕組みを変更する時には、交通計画会議で決定を受ける必要があり、スケジュールの部分について遅れてしまうところがある。ＤＸについては、キャッシュレス決済について、タクシーについては一部導入されているが、バスについては、来年度を目途に導入する予定にしている。

石田課長：都市計画の観点でいうと、バスの結節点は隠岐病院になっている。エントランスエリアとの接続部分について、事業者のみなさんや地域振興課と協議しながら進めていきたい。

渡部氏：ライドシェアが気になる。離島でやるのは良いと思うが、自社は大型免許を取りながら安全確保に務めている。その影響か人材が不足しているのが現状。ライドシェアを行うと人材確保が難しく思うがどうか。

小林氏：事業者との協議は必要。どこまで導入できるのかというのは国でも議論が始まった段階で、今日のところでは良いのか悪いのか回答が出来ない。方向性については、来年６月にまとまる。おっしゃったような内容はあると思う。国交省内で共有しながら考える。

渡部氏：ＥＶバスをすすめていると思うが、運航しているのも中国バスが多い。価格などの現在の情勢はどうか。

小林氏：国内の生産が良いとは思っている。ＥＶバスの導入に係る補助など、経済産業省国土交通省内で協議はしている。引き続き現場の状況を教えていただければ。

高梨氏：ＤＸについては、昨年広域と隠岐汽船で検討協議会を立ち上げた。現状として、汽船場も４島ある中で３～４人の職員で対応しているところもある。

桑子会長：公共交通会議ではどのような協議をしているのか。

宇野課長：現状を維持するのがメイン。島根県の場合、現状の路線をいかに効率よく維持していくかが基本になっている。隠岐の島町は住民の方の利便性を重視して結節点やルート、時刻表を考えている。ただ、観光と併用できないか、介護の送迎などとの検討から開始は行えると思う。

小林氏：地域の利用者のための公共交通のリ・デザイン事業となっている。

桑子会長：役場内で協議会の設立について協議してほしい。

宇野課長：都市計画課と地域振興課と協議を行う。

5. 議題

1) 西郷港周辺の交通の考え方について

◇質疑応答・意見

井 本 氏：以前から話を聞いているが、船を利用する人と、買い物客の性格が違うことを認識していただきたい。立体駐車場の使用用途が低いのは場所が遠いため当然であり、誰にでも分かること。雨に濡れない、距離が近いというのは大前提。町中の景観問題は分かるが、個人の駐車場の稼働率も考える必要がある。業種ごとに稼働率も変わることを認識をしてほしい。

石田課長：図面上には個人の駐車場も記載しているが、稼働率までは考慮していない。

上 條 氏：おっしゃる通り。状況として、立体駐車場は空いており、港湾に停めたがることは理解している。立体駐車場に停車し、歩いていくことが重要だと把握している。駐車場ごとに性格付けをしていき、今後、より具体的なものを示す予定としている。

井 本 氏：個人的には全体的に駐車場が不足しているとは言っておらず、個人商店の駐車場は不足しているように感じる。一時的に利用できる駐車場があれば良いと思う。

村 上 氏：このような議論をする際は持っているデータを示してほしい。証拠が必要。利用する船によっても停車する駐車場も違う。今の駐車場の状況などを公表すべき。駐車場の数を削減するのか、どこの駐車場に誘導したいのかそのようなものを示すべき。そうなれば料金の差別化なども考える必要があるように感じる。

桑子会長：駐車場の問題に限らず、今後は議論の仕方や提示する資料について検討する。

6. 事務連絡

小 林 氏：本日は色々な意見をいただき感謝。今後も引き続き協力できればと思う。

7. 閉会

